職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置		Н	12	長名	_	所在地							
ホンダテクニカルカレ	ッジ関西	昭和	056年2月28	8日	海沼	弘樹	(住所)プ		阪狭山市東茱萸木2丁目1937-1						
設置者名		設工	立認可年月	日	代表	長者名		72-366-9011	所在地						
学校法人ホンダ	学園		□55年3月17			光太郎		56-8567 奇玉県ふじみ野市鶴							
分野		忍定課程名			認定学科		(電話) 0	49-264-0121 士認定年度	高度専門士認	定年度	職業宝建す	專門課程認定年度			
工業	-	<u>8.足缺性名</u> 業専門課和			<u>認定字科。</u> 自動車整備			<u>工認定年度</u> 9(2007)年度	同反守门上於	元 十尺		等门課程認定平度 29(2017)年度			
学科の日的		及び私立学							せ、新時代に相応しし	い健全有意 な	1	車整備士を育成する			
学科の特徴(主な教 育内容、取得可能 な資格 等)									美力育成のためび企う 受験資格(実技試験)						
修業年限	昼夜	全課程の値	修了に必要が 単位		数又は総	講	美	演習	実習	:	実験	実技			
2		※単位時間、 かに記入	単位いずれ		単位時間	749	単位時間	0 単位時間	1,183 単位時間		0 単位時間	36 単位時間			
年		がに記入			単位		単位	単位	単位		単位	単位			
生徒総定員	生徒実	[員(A)	留学生数	数(生徒実員の)内数)(B)	留学生割	合(B/A)	中退率							
150 人	152	人		57	人	38	%	10 %]						
	■卒業者		:		54		<u> </u>		1						
	■就職希望		<u>:</u> :		51 51		<u>人</u> 人								
	■地元就	哉者数(F)			23		人								
	■就職率 ■就職者(元就職者の語	割合 (F/E)			%								
			戦者の割合(45		%								
			現有の割合((E/ U)	94		%								
	■進学者数 ■その他	汉			2		人								
	1 人														
			fra ele 1 em e	- PP	et a tri	g page to the	ed)								
	(令和 ■主な就 耳			に関する令	和6年5月	1日時点の情報	段)								
			₹												
	(予利6年度														
	(令和6年度 自動車販売		動車整備エ	場、自動	車メーカー	、自動車関連	企業								
	自動車販売	売会社、自 評価機関等	まから第三者	 野価:	車メーカー	、自動車関連	至企業 	無							
第三者による	自動車販売	売会社、自 評価機関等		 野価:	車メーカー	、自動車関連	重企業								
	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合	売会社、自 評価機関等	まから第三者	 野価:	車メーカー	、自動車関連 受審年月:	全企業		評価結果を掲載した ホームページURL						
第三者による	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合	売会社、自 評価機関等 、例えば以下	まから第三者	 野価:	車メーカー		企業								
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体:	をおら第三者 をについて任意	当評価: 意記載											
第三者による 学校評価 当該学科の	自動車販売 ■民間の ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: vw.hondaco	から第三者 だけいて任意 ollege.ac.jp/	当評価: 意記載		受審年月:									
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: vw.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/	当評価: 意記載		受審年月:				1 9	68 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/	各評価 : 意記載 /honda_w/	['] departmen	受審年月: nts/maintenal	nce				68 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	から第三者 について任意 ollege.ac.jp/ る算定) な	告評価: 意記載 /honda_w/	[∕] departmen c実験・実習	受審年月: its/maintenai	nce				50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等	皆評価: 意記載 /honda_w/	[∕] departmen c実験・実習	受審年月: its/maintenai	nce				50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	から第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち必修授	皆評価: 意記載 /honda_w/ と連携した と連携した 業時数	[′] departmen ≃実験・実習 ≃演習の授業	受審年月: ets/maintenal 習・実技の授業 養時数	nce 業時数			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	から第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち必修授	皆評価: 意記載 /honda_w/ と連携した と連携した 業時数 うち企業等	departmen 実験・実習 に演習の授業	受審年月: ats/maintenal 習・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・	nce 業時数 実習・実技の			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち必修授	皆評載 /honda_w/ と連携した 業時な企業 うち企業	departmen 上実験・実習 に演習の授業 を連携した	受審年月: ats/maintenal a・実技の授業 に必修の実験・ ない。	nce 業時数 実習・実技の)授業時数			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 0 単位時間				
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ	自動車販売 ■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち必修授	皆評載 /honda_w/ と連携した 業時な企業 うち企業	departmen 上実験・実習 に演習の授業 を連携した	受審年月: ats/maintenal 習・実技の授業 詳時数 こ必修の実験・	nce 業時数 実習・実技の)授業時数			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■民間の記 ※有の場合 https://ww	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.hondaco	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち企業等	皆評載 /honda_w/ と連携した 業時な企業 うち企業	departmen 上実験・実習 に演習の授業 を連携した	受審年月: ats/maintenal a・実技の授業 に必修の実験・ ない。	nce 業時数 実習・実技の)授業時数			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 0 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムの ホーリス URL と連携し した況	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関等 、例えば以下 いw.hondaco 時間業時 総授業時数	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち企業等	皆評載 /honda_w/ と連携した 業時な企業 うち企業	departmen 上実験・実習 に演習の授業 を連携した	受審年月: ats/maintenal a・実技の授業 に必修の実験・ ない。	nce 業時数 実習・実技の)授業時数			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 0 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価人は 中価人は 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で 中で	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち企業 (うち企業	香記載 /honda_w/ と連連勝か企連携 したたちを連携した。 を連携をはままります。	departmen :実験・実習 :演習の授業 :と連携した	受審年月: ats/maintenal a・実技の授業 に必修の実験・ ない。	rce 実時数 実業時数 受業時数)			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価を で 中価を で 中価を で で の の の の の の の の の の の の の の の の の	がら第三者 について任意 ollege.ac.jp/ うち企業等 うち企業等 うち企業 (うち企業	香記 が	departmen 宝験・実 実験の授業 を連携した と連携した によく	受審年月: ats/maintenan a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	rce 実時数 実業時数 受業時数)			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関以下 い、Memory Memory	がら第三者 から第三者 ollege.ac.jp/ う算定) すうち企業等 うち企業等 うち企業等	音記/honda_w/書記/honda_w/上連連時方ちとと連携数全連携ししたたとききききしたたききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききき <td< td=""><td>departmen 宝験・実 実験の授業 を連携した と連携した によく</td><td>受審年月: ats/maintenan a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技</td><td>rce 実時数 実業時数 受業時数)</td><td></td><td></td><td>1, 9</td><td>50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間</td><td></td></td<>	departmen 宝験・実 実験の授業 を連携した と連携した によく	受審年月: ats/maintenan a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	rce 実時数 実業時数 受業時数)			1, 9	50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関以下 い、Memory Memory	が い の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の の の の の の の の の の の の	Mathematical PropertiesA control PropertiesA control PropertiesA control PropertiesA control PropertiesMathematical PropertiesA control PropertiesA control PropertiesA control PropertiesMathematical PropertiesA control PropertiesA control PropertiesA control PropertiesMathematical Properties <td< td=""><td>departmen 実験・実習の授業 を連携した と連携した に実験・実際の単位</td><td>受審年月: ats/maintenan a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技</td><td>大 実 で 実 で 大 受 業 時 数 で 数</td><td>の授業時数</td><td></td><td>1, 9</td><td>50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位 単位 単位</td><td></td></td<>	departmen 実験・実習の授業 を連携した と連携した に実験・実際の単位	受審年月: ats/maintenan a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	大 実 で 実 で 大 受 業 時 数 で 数	の授業時数		1, 9	50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 0 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関以下 い、Memory Memory	がらいて (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す) (す)	香語 /h とと業うう等 とと位う 評載 honda_w / しし	departmen 実験・要 ・実験の を連携した ・実験の単した ・実験の単した	受審年月: ats/maintenad a・実技の授業 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの技	mce 実時数・実技(受業時数) 立数 で変数・実技(の授業時数		1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 50 単位時間 50 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関以下 い、Memory Memory	がら第三者 ollege.ac,jp/ うり な うちを企 変 うちを企 で で で で で で で で で で で で で	音記 /honda_w / とと業うう等 とと位うう (mi) とと業うう等 とと位うう (mi) ととはなった と 連連数 ちちしし 業業 携ししし 業業 (mi) にたた 等等し	departmen 実験・実習の を連携した 実験のの単した に実験のの単した に実験のの単した	受審年月: ats/maintenan ats/maintenan	mce 業時数 実業時数 受業時数) 立数 実間・実技(の授業時数		1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 50 単位 0 単位 0 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、自 評価機関以下 い、Memory Memory	がら第三者 ollege.ac,jp/ うり な うちを企 変 うちを企 で で で で で で で で で で で で で	音記 /honda_w / とと業うう等 とと位うう (mi) とと業うう等 とと位うう (mi) ととはなった と 連連数 ちちしし 業業 携ししし 業業 (mi) にたた 等等し	departmen 実験・実習の を連携した 実験のの単した に実験のの単した に実験のの単した	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce 業時数 実業時数 受業時数) 立数 実間・実技(の授業時数		1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 50 単位位時間 0 単位位位 単位位 単位位 単位 単位 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	■ 目動車販売 は は は に に に に に に に に に に に に に	売会社、 評価人 で W.hondaco に 時代 で W.hondaco に は 位	がらいて任意 ollege.ac.jp/ ううちな企业 (うちな企业 で で で で で で で で で で で で で	音記 /h とと業うう等 とと位うう等 (mu) とと業うう等 (a) とと位うう等 (b) としし (b) とり (b) とり (c) を	departmen 実験である。 実験である。 実験である。 実験である。 実験である。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 になる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 にななる。 になる。 にななる。 にななる。 にななる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: ats/maintenan ats/maintenan	mce 業時数 実業時数 受業時数) 立数 実間・実技(の授業時数		1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 50 単位位時間 0 単位位位 単位位 単位位 単位 単位 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	自動 ■ R の 場 の は	売会 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	示い	音記 /h とと業うう等 とと位うう等 程従 一部 は a u は は ままま が しし ままま しし は 業業 携 しし ままま ままま で ままま しん ままま ままま しん しん いっこう ままま しん しん いっこう はん かん いっこう はん しん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう とん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん いっこう いっこう はん いっ はん いっこう はん いっこう はん いっ はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	の授業時数	ホームページURL	1, 9	50 単位時間 0 単位時間 68 単位時間 50 単位時間 50 単位位時間 0 単位位位 単位位 単位位 単位 単位 単位 単位 単位				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	自動 III の	売会 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	示いの に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	音記 /h とと業うう等 とと位うう等 程従 一部 は a u は は ままま が しし ままま しし は 業業 携 しし ままま ままま で ままま しん ままま ままま しん しん いっこう ままま しん しん いっこう はん かん いっこう はん しん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう とん しん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん しん いっこう はん いっこう いっこう はん いっ はん いっこう はん いっこう はん いっ はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう はん いっこう	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/maintenan	mce	の授業時数	ホームページURL	1, 9	50 単位時間 0 単位時間 50 単位時間 50 単位時間 50 単位時間 50 単単位 0 単単単単単 単単単単 単単 単単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	自動 III の	売 評例一 () では、 () では	すい ollege.ac jp/ ollege.ac jp/ of ううう (定 ううう (校る限る	音記 /h とと業うう等 とと位うう等 程従務 評記 hon 連連時ちちと 連連数ちちと を事に価	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D授業時数 D単位数	ホームページURL 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1, 9	50 単位時間 68 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
第三者による 学校評価 当該ムののが 以RL と連携施でした況のののが と連携がある。	自動 III の	売 評例一	からい	者語	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D授業時数 D単位数 認置基準第41条第1項	ホームページURL (事1号)	1, 9	50 単位 68 単位 50 単位 50 単位 50 単位 50 単単 4 単単 50 単単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 日 5 日 6 日 2 日 6 日 2 日 2 日 3 日 4 日 5 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 3 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 5 日 6 日 6 日 6 日 <				
第三者 第三者 音子校 当一 以 以 以 は の の の の の との の の との の との の との の との の に し 状れ の 属 性 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の に の の の の に の の の の の の の の の の の の の	自動 III の	売 評例一	すい ollege.ac jp/ ollege.ac jp/ of ううう (定 ううう (校る限る	者語	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D授業時数 D単位数	ホームページURL (事1号)	1, 9	50 単位時間 68 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
第三者 宇 宇 神 神 神 が が が が が は い の が との の の との の も との の も との の も し 状れ し 、 、 、 に も た に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	自動 III の	 た 評例 www. 時 総 数 総 立 機ば 体 da c を と は 単 ののの以 で 高 と は 位 ののの以 で 高 を 当 ま と ま 等 自 等下 の 学 算 (事) の で 学 で ま な の 学 算 (事) の 学 で ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な な か ま な な な な	からい	者語	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D授業時数 D単位数 認置基準第41条第1項	ホームページURL (事1号) (事2号) (事3号)	1, 9	50 単位 68 単位 50 単位 50 単位 50 単位 50 単単 4 単単 50 単単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 日 5 日 6 日 2 日 6 日 2 日 2 日 3 日 4 日 5 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 6 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 3 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 4 日 5 日 6 日 6 日 6 日 <				
第三者 学 当一 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に に に に	自動 III の	 た 評例 www. 時 総 数 総 立 機ば 体 da c を と は 単 ののの以 で 高 と は 位 ののの以 で 高 を 当 ま と ま 等 自 等下 の 学 算 (事) の で 学 で ま な の 学 算 (事) の 学 で ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な の 学 す ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な か ま な な か ま な な か ま な な か ま な な な か ま な な な な	が	者語	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D授業時数 D単位数 E設置基準第41条第1項 E設置基準第41条第1項	ホームページURL 真第1号) 真第2号) 真第3号) 真第4号)	1, 9	50 单位 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <td></td>				
第三者 学 当一 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に に に に	自動 III の	 た 評例 www 時 総 会 価例 価 hon に 異 と 位 機ば 体 da よ 時 し よ 位 り 事担修上 学 高 修 り ま せ る 数 「	が	者語	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D/授業時数 D/授業時数 D/単位数 E/設置基準第41条第1項 E/設置基準第41条第1項 E//	ホームページURL 真第1号) 真第2号) 真第3号) 真第4号)	1, 9	50 単位時間 68 単位位時間 50 単位位時間 50 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
第三者 学 当一 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に に に に	自動 III の	 た 評例 で い い 時 総 会 価例 価 い 間 授 さ と 機ば す のの以 で 高 修 そ ま 位 し のの以 で 高 修 そ ま か し のの以 で 高 修 そ ま の 当 の 世 で の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の 世 の	が	 (h) とと業うう等 とと戦うう等 ととばうう等 経位うう等 程後務 経済 経済	departmen 実演 実演 連連イ ・の 実演 連携 ・の に を を を を を を を を を を を を を	受審年月: ats/maintenan ats/main	mce	D/授業時数 D/授業時数 D/単位数 E/設置基準第41条第1項 E/設置基準第41条第1項 E//	ホームページURL 真第1号) 真第2号) 真第3号) 真第4号)	1, 9	50 単位 68 単位 68 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				
第三者 学 当一 との B 記 との B 記 に に に に に に に に に に に に に	自動 ■ R の B に	 た 評例 では、 は では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	すい	者語	departmen	受審年月: ats/maintenan 習・時 修修シップの 実	mce	D/授業時数 D/授業時数 D/単位数 E/設置基準第41条第1項 E/設置基準第41条第1項 E//	東第1号) 東第2号) 東第3号) 東第3号) 東第5号)	1, 9	50 単位 68 単位 68 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単				

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

企業・業界団体等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能を反映するため、企業・業界団体等からの意見を十分にいかし、カリキュラムの改善等の教育課程の編成を定期的に行うことを基本に展開を図る。

企業実習などを通じ、学校では学びきれない実践力を養う。合わせて、就職先企業への企業CS調査を実施し、企業が求める人材要素や教育弱点領域の把握と授業への反映を行うものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校長は当年度の教育課程編成を本校関係者により組織した教育課程編成委員会(以下「編成委員会」という。)に報告し、 意見を聴取し、その意見を尊重し、教育活動に活用する。

① カリキュラムの改善のため委員会を設置

② カリキュラムの改善へ の意見を提案 ③ 組織としてカリキュラムの改善を検討・決定

④ 決定内容に応じてカ リキュラムを改善 ⑤ 実施結果を 検証

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月1日現在

	<u></u>							
名 前	所 属	任期	種別					
瀧本 佳史	一般社団法人大阪府自動車整備振興会	R6年4月1日~R8年3月31日	1					
水口 和明 (一級自動車研究開発学科一級自 動車整備士コース担当)	株式会社ホンダモビリティ近畿	R6年4月1日~R8年3月31日	3					
河井 政昭 (自動車整備科担当)	株式会社ホンダ泉州販売	R6年4月1日~R8年3月31日	3					
鳥井 聡 (自動車整備留学生科担当)	株式会社ホンダモビリティ中部	R7年4月1日~R9年3月31日	3					
杉浦 智弥 (自動車整備留学生科担当)	株式会社ホンダモビリティ中部	R6年4月1日~R7年3月31日	3					
足立 光康 (一級自動車研究開発学科自動車 研究開発コース担当)	株式会社アビスト	R6年4月1日~R7年3月31日	3					
坂井 克行 (一級自動車研究開発学科自動車 研究開発コース担当)	株式会社アビスト	R7年4月1日~R9年3月31日	3					
五月女 浩 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 校長	R6年4月1日~R7年3月31日	1					
海沼 弘樹 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 校長	R7年4月1日~R9年3月31日	_					
田中 直樹 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 教頭	R6年4月1日~R8年3月31日	_					
寺尾 典篤 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 教務部 部長	R6年4月1日~R7年3月31日	-					
白石 拓三 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 自動車整備科 科長 ・自動車整備留学生科 科長	R5年4月1日~R7年3月31日 R7年4月1日~R9年3月31日	_					
後藤 俊介 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 自動車整備留学生科 科長 ・一級自動車研究開発学科 科長	R5年4月1日~R7年3月31日 R7年4月1日~R9年3月31日	_					
神通 邦彦 (学校側委員)	ホンダテクニカルカレッジ関西 一級自動車研究開発学科 科長 ・教務部 部長	R5年4月1日~R7年3月31日 R7年4月1日~R9年3月31日	_					

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、11月)

(開催日時(実績))

令和6年度 第1回 令和6年06月21日 13:00~16:00 令和6年度 第2回 令和6年11月21日 13:00~16:00 令和7年度 第1回 令和7年06月27日 13:00~16:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ①カリキュラムについて 改善案は特になし
- ②教育活動について 留学生全体に対する日本語教育改善・入学生全般における基礎学力の向上
- ③新規実習車両や教材購入、学習環境整備等について

特にご意見等はなく、計画通り推進

④今後の検討課題について 電動化教育、新整備士資格対応について検討を始める事を共有 リカレント教育のトライアル実施を共有

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- 企業CS調査においての弱点領域や点検整備など実践力不足に関して学生自らが気づく必要がある。

また、内定後の安堵感による気の緩みなどから就職までに備えなければならないことを実行できない学生が多い。就職先 の現場を経験することで実社会の厳しさと自らの弱点を知り、卒業までの課題を自覚すると共に内定先からの期待を認識 し、今後の学習意欲を喚起する。

- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

就職内定先企業にて現場実習、または諸事情により現場実習が困難な場合は、提携企業から派遣された講師により校内 模擬現場実習を実施する。あわせて研修学生は実習先へ研修レポートを提出し、企業から考課表にて評価を頂くと共に科 目評価をする。(対象科目:実践自動車整備)

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
実践自動車整備	連携方法を科目概要	社会において実施されている実践 的な整備内容をしり、その手法等 を理解習得する。 【企業実習・校内模擬企業実習】	(株)ホンダモビリティ近畿 (株)ホンダ泉州販売 (株)ホンダモビリティ中部 (株)ホンダクリオ南海

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学則細則より、教員は、校長の指示により、その専門分野における実務能力の向上及び指導力の修得・向上のために必要な研修を定期的に受けるものとする。

研修規定に則り、学校運営に必要な知識の向上、技術、・技能の習得、授業方法の改善、学生指導の方法、募集に関することなど、幅広い能力の向上を図るため、教員の業務経験や能力、担当科目、授業以外の担当業務等に応じて研修を行う。

「専攻分野における実務に関する知識」においては企業等と連携して技能等の修得・向上を図ると共に、「指導力」においてはその修得・向上を目的とした研修を受講し研鑽することとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 新製品技術研修 FREED 連携企業等:本田技研工業(株)

期間: 令和6年6月 対象: 全員

内容 新機種におけるサービス技術研修

研修名: 次世代自動車研修会 連携企業等: 大阪府自動車整備振興会

期間: 令和6年6月 対象: 1名

内容 次世代自動車研修会(BMW7シリーズ)

研修名: 電動車両研修(N-VANe) 連携企業等:本田技研工業(株)

期間: 令和6年11月 対象: 全員

内容 電動車両研修(N-VANe)の構造機能、車両特性等の研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: JAMCA夏季教員研修 連携企業等: 全国自動車大学校整備専門学校協会

期間: 令和6年7月~8月 対象: 1名

内容 教員スキル向上と相互研鑽及び情報交換

研修名: 保護者対応スキルアップ 連携企業等: 学校リスクマネジメント機構

期間: 令和7年2月 対象: 1名

内容 保護者対応スキルアップ クレーム・カスハラ対応

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 新製品技術研修 連携企業等: 本田技研工業株式会社

期間: 令和7年10月 対象: 全員

内容 新製品技術研修サービス技術研修

研修名: 新機種技術研修 連携企業等: 大阪府自動車整備振興会

期間: 令和7年6月~10月 対象: 1名~2名

内容 他メーカー機種サービス技術研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 自殺防止セミナー 連携企業等: 自殺防止センター

期間: 令和7年4月~12月 対象:全員

内容 大学生等の自殺防止を図る為のセミナー

研修名: 教員指導力研修 連携企業等: 大阪府専修学校各種学校連合会

期間: 令和7年7月~12月 対象: 1名~2名

内容 教員に必要な各種指導力向上のための研修

研修名: 夏季教員研修 連携企業等: 全国自動車大学校整備専門学校協会

期間: 令和7年8月 対象: 1名

内容 教員スキル向上と相互研鑽及び情報交換

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学則に照らし建学の精神・育成方針に沿った年度毎の重点施策、学生生徒の状況、教育課程・学習指導、教員の状況について自己評価表を用い、自己評価を実施し、学外からの適正な評価を受けるため、学外者を含んだ学校関係者評価委員会を組織し、実施した自己評価を検証する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の志・学園の目的・教育方針 年度における重点課題
(2)学校運営	3ヵ年計画及び方針と目標(重点課題)
(3)教育活動	教務部方針及び重点課題対応施策
(4)学修成果	就職内定率・資格取得率・退学/休学率・社会的な活躍及び評価
(5)学生支援	進路指導・学生相談・経済的支援・学生の健康管理・課外活動・保護
(5)子主义拨	者との連携・卒業生への支援
(6)教育環境	国土交通省における一種養成施設設置基準
(7)学生の受入れ募集	募集活動目標と施策
(8)財務	事業計画·主要財務数値·予算書·監査計画書
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準・第一種養成施設指定基準
(10)社会貢献・地域貢献	環境への取組み・社会貢献事業に対する取組み(地域清掃)
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

令和5年度の自己点検・評価報告に対し評価委員会から、学生・保護者から選ばれる学園という大きな課題に対して、学生確保に向けた取り組み、退学者数の低減の取り組み、新技術対応を踏まえた授業内容の見直し、国家資格取得の更なる強化等の御提言を頂き、令和6年度も引き続き重点施策として取り組んできた。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
木村 一年	本田技研工業株式会社	R6年4月1日~R8年3月31日	企業等委員
水口 和明	株式会社ホンダモビリティ近畿	R6年4月1日~R8年3月31日	企業等委員
河井 政昭	株式会社ホンダ泉州販売	R6年4月1日~R8年3月31日	企業等委員
松本 貴幸	ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長	R6年4月1日~R7年3月31日	PTA
阪上 徳行	ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長	R7年4月1日~R8年3月31日	PTA

- ※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
- (例)企業等委員、PTA、卒業生等
- (<u>5)学校関係者評</u>価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・)広報誌等の刊行物・ その他())

URL: https://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/

公表時期: 令和7年7月9日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

専門学校は公的な教育期間として、学校教育法に基づき教育活動や学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとされている。我々が行っている実践的な職業教育・専門技術教育に対する社会的な理解、評価を促進し、学習者の適切な学習機会選択に資するためにも情報提供と社会による説明責任を果たすことは重要である。また情報提供による関係業界との連携・協力は、教育の質の確保と向上に繋がると考える。

以上の観点から、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に沿い、必須の9項目を網羅し、分かり易く学校のホームページに掲載する。掲載にあたっては個人情報の取扱いに十分留意し、公正、正確な情報を適時・適切に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の志、学園の目的、育成方針、沿革、安全・保健対策計画
(2)各学科等の教育	入学・卒業情報、カリキュラム、資格・国家試験結果、進路
(3)教職員	教職員数、組織情報、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	企業との連携による取組み状況、就職支援への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動(同好会・ボランティア活動)
(6)学生の生活支援	学生相談
(7)学生納付金・修学支援	納付金情報、奨学金制度
(8)学校の財務	主要財務数値
(9)学校評価	自己評価、学校関係者評価、改善施策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ ·)広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/about/disclosure/

公表時期: 令和7年7月9日

授業科目等の概要

		二業専 分類	限程 自動車整備	請科) □				垣	業方	注	提	所	教	吕	
	必修	選択必修	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験	校内	於 校	専任	兼任	企業等との連携
1	0		基礎自動車工学	これから学ぶにあたり、基本的な自動車とは何かについて理解する。整備士にかかわる工学的な基本事項理解する。	1 前	19	-	0			0		0		
2	0		エンジン系構造	原動機及びエンジン系電装品、動力伝達装 置の作動原理及び基本構造、名称等を理解 習得する。	1 前	59	-	0			0		0		
3	0		シャシ系構造	車体各部及び車体系電装品、動力伝達装置 の作動原理及び基本構造、名称等を理解習 得する。		59	-	0			0		0		
4	0		自動車総論	自動車に関する物理・数学、環境、内燃機 関等基礎概論を理解習得する	1 通	27	-	0			0		0		
5	0		図面・材料	自動車を取り扱う上で必要な材料の種類、 製法、特徴、用途及び図面に関する一般知 識について理解習得する	1通	19	-	0			0		0		
6	0		エンジン系整備	エンジン及びエンジン系電装品の点検整備、および電子制御燃料噴射装置の基礎を 学ぶ	1 後	36	-	0			0		0		
7	0		シャシ系整備	車体、動力伝達、変速装置、走行装置、懸架装置、および灯火類などのシャシ系電気装置の点検整備を学ぶ		36	-	0			0		0		
8	0		二輪車整備	二輪車特有の各種装置の点検整備、および 調整方法を学ぶ	1 後	36	-	0			0		0		
9	0		電装系整備	四輪・二輪の各種電装装置の点検整備、および調整方法を学ぶ	1 後	36	-	0			0		0		
10	0		自動車法規	法規道路運送車両法、道路運送車両の保安 基準を学ぶことを通じて、二級自動車整備 士としての知識と技術を習得して正しい法 規の運用能力を身に付ける。	1	7	-	0			0		0		
11	0		エンジン系応 用	エンジン総論バランサ機構、可変バルブ開閉機構、ロータリエンジン、燃料装置、LPG、過給機など、エンジンの構造機能(応用編)及び、燃料油脂などについて理解習得する	2	32	-	0			0		0		
12	0		シャシ系応用	シャシ性能総論、AT、油圧PS、アライ	2	32	-	0			0		0		
13	0		電子制御装置	電子制御装置についての構造作動機能等に ついて理解習得する	. 2	7	_	0			0		0		
14	0		ジーゼル自動 車	ジーゼル自動車全般についての構造作動機 能・故障診断と整備を習得する	2 後	23	_	0			0		0		
15	0		総合自動車工 学	国家二級試験に合格するために、自動車工 学の復習を行い、理解度を深める	. 2	28	-	0			0		0		

授業科目等の概要

		業専 分類	限程 自動車整備	青科)				授	業方	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験	校内		専任	兼任	企業等との連携
16	0		自動車総論	走行性能、プラネタリギヤ、エンジン性 能、熱効率と仕事率、電気効率、オシロス コープ波形、軸重計算、制動性能 等	2	27	-	0			0		0		
17	0		故障原因探求	機械系の故障診断における診断方法と対応 手法を理解習得する。整備に関する制度等 の基本的な事項を理解する	2 後	23	_	0			0		0		
18	0		総合自動車整備	自動車検査業務や点検整備など、社会において実施されている実践的な整備内容をしり、その手法等を理解習得する。	2 後	46	-	0			0		0		
19	0		電子制御装置整備	電子制御装置系統の診断手法の基本を理解習得する。	! 2	7	-	0			0		0		
20	0		自動車検査	自動車の点検車検要領・診断機器・大型自動車・検査機器取り扱いなど自動車の検査 や各検査機器の活用と関係法令・基準等に ついて理解する	2	23	_	0			0		0		
21	0		自動車法規	法規道路運送車両法、道路運送車両の保安 基準を学ぶことを通じて、二級自動車整備 士としての知識と技術を習得して正しい法 規の運用能力を身に付ける。	2	21	_	0			0		0		
22	0		基礎整備作業	自動車整備作業における基礎を学ぶ	1 前	23	_			0	0		0		
23	0		実エンジン系 構造	エンジン本体・潤滑・冷却・燃料装置・吸排気装置及びエンジン系電装品の分解組立作業等を通じ構造機能と故障整備概要を理解習得する	1	154	-			0	0		0		
24	0		実シャシ系構造	クラッチ・AT/MT・サス・ブレーキ・ステアリング・ボディ及びシャシ系電装品の分解組立作業等を通じ構造機能作動と故障整備概要を理解習得する	1	154	-			0	0		0		
25	0		実エンジン系 整備	前期エンジン系構造実習にて得た分解・組立方法を基に作業を行い、整備に必要な点検・調整方法を理解習得する	1 後	79	_			0	0		0		
26	0		実シャシ系整備	前期シャシ系構造実習にて得た分解・組立方法 を基に作業を行い、整備に必要な点検・調 整方法を理解習得する	1 後	79	_			0	0		0		
27	0		実二輪車整備	前期二輪車構造実習にて得た分解・組立方 法を基に作業を行い、整備に必要な点検・ 調整方法を理解習得する	1 後	79	_			0	0		0		
28	0		実電装系整備	前期実習にて得た各種電気装置の分解・組立方法を基に作業を行い、整備に必要な点検・調整方法を理解習得する	1 後	79	_			0	0		0		
29	0		実エンジン系 応用	V 6 エンジン・可変バルブ機構、ロータリ、LPG燃料装置、過給機、ラッシュアジャスタなどエンジン新機構・応用機構の構造機能等を分解組立作業等を通じ理解習得する	2	97	_			0	0		0		
30	0		実シャシ系応 用	オートマチックトランスミッション、パワーステアリング、アライメントなどシャシ新機構・応用機構の構造機能等を分解組立作業等を通じ理解習得する	2	97	-			0	0		0		

授業科目等の概要

			門謂	程 自動車整備	前 科)					-115 1				₩ □		
	必修	分 選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次·学期	授業時数	単位数	講	業 <u>方</u> 演 習	法 実験・実習・実技	<u>場</u> 校内	<u></u> 校		<u>貝</u> 兼 任	企業等との連携
31	0			実電子制御装 置整備	電子制御装置について各機構の構造作動機 能等を分解組立作業や測定・診断差業等を 通じ理解習得する		21	_			0	0		0		
32	0			実践自動車整備	社会において実施されている実践的な整備 内容をしり、その手法等を理解習得する。 【企業実習・校内模擬企業実習】	2 後	50	1			0	0		0	0	0
33	0			実自動車検査	自動車の検査について実習作業を通じ理解 習得する。各検査機器の活用と関係法令・ 基準等について理解する	² 前	54	ı			0	0		0		
34	0				ジーゼル自動車全般についての構造作動機 能・故障診断と整備を習得する	後 2 後	41	-			0	0		0		
35	0			実故障原因探 求	機械系の故障診断における診断方法と対応 手法を理解習得実践する。電子制御系統の 診断手法の基本を理解習得する。	2 後	41	1			0	0		0		
36	0			総合自動車整備	自動車検査業務や点検整備など、社会において実施されている実践的な整備内容など を実践し、その手法等を理解習得する。	2 後	82	1			0	0		0		
37	0			安全運転	安全運転に関する心構えを認識し、今後の 運転等の意識改革を図るとともに事故減少 に取り組む		36	ı	4		0	0	4	0		
38	0			接客実務	サービスにおける接客実務の理解の幅を広げ、実践できるようにする(SE3級)	1 2 前	36	ı	0			0		0	0	
39	0			特別講座	就職先進路別グループに分かれ、国家試験合格に向けた最終実力養成と、即戦力となりうる実践的スキルの習得、向上を目指し実力養成を図る	2	108	-	Δ		0	0		0	0	
40	0			新機構・次世 代技術	車両技術領域及び診断作業等領域における 新デバイス・新システム等の構造機能等の 理解習得を図る	1 2 後	21	_	0			0		0		
41	0			新機構・次世 代技術	車両技術領域及び診断作業等領域における 新デバイス・新システム等の構造機能、整 備要領等の理解習得を図る		59	_			0	0		0		
			合計		41		科目			-	1993	È	单位	(単化	立時	間)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等					
卒業要件:	卒業認定会議の結果全教育科目の修了が認定され、素行・学習意欲等が良好と認められた者には卒業を認定する。	1 学年の学期区分	前後 期				
履修方法:	学生個人別出欠席を調査し、これを記録するものとする。 各教科の履修効果を評価するために、所定の試験を行うものとする。 必要に応じ、放課後又は休日、若しくは休暇中に補講を行うことがある。	1 学期の授業期間	27 週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。